

ジオウエツブ <立体ジオセル工法>

ジオウエツブとは

ジオウエツブは耐久性に優れた高密度ポリエチレン(HDPE)板を高周波で連続した立体ハニカム状に圧着した「ジオセル」製品で、セル構造に充填材を詰めることにより強度のある構造体となります。



AsahiKASEI
旭化成アドバンス
国土交通省新技術提供システム
NETIS登録番号 HK-090006-V
「設計比較対象技術」指定品
NETIS登録番号 HK-160013-A

特徴

- 軽量・コンパクトなので保管に便利で現場への搬入も容易です。
- 緩勾配の斜面に展開し、アンカーピンで固定後、覆土をすることにより法面保護材として使用できます。
- 素材が耐久性、柔軟性に優れた高密度ポリエチレンのためです。
- 現地の種子入り発生土を充填すれば、在来種による緑化が図れます。
- 法面保護、植生擁壁、河川・水路護岸から路盤・支持力補強工まで適用可能です。



法面保護

ジオウエツブを展開後、専用アンカーで固定し、土砂等を充填するだけの簡単な施工で短時間に経済的な法面保護が可能です。

- 法勾配 1:0.8 より緩勾配の法面
- 道路・造成地の法面
- 防水層等アンカー打設の不可能な法面
- コンクリートフレーム内の緑化工(充填材:発生土、碎石、コンクリート等)



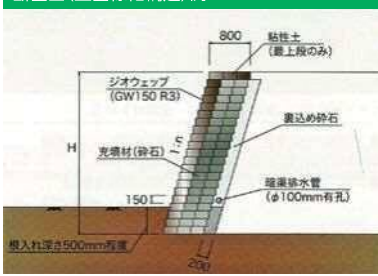
擁壁工

展開したジオウエツブに発生土、碎石を充填転圧しながら階段状に積み上げるだけの簡単な施工です。勾配変化、曲線部の施工にも容易に対応でき、在来種による緑化も図れます。

- 急勾配の法面
- 災害による小規模斜面崩壊現場
- 重機を用いた施工が困難な場所
- コンクリート二次製品等の重量物搬入が困難な場所



断面図(壁面緑化構造)例

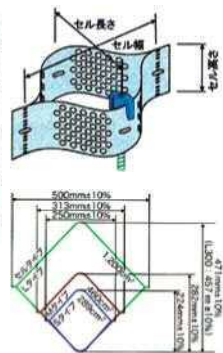
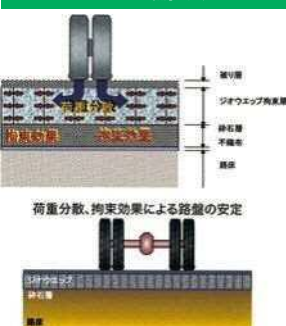


路盤・支持力補強工



ジオウエツブと拘束した充填との相乗効果で高い荷重分散効果を持った支持層を形成します。セル内に碎石を充填すれば仮設道路として工事車両の通行もでき、災害時の急速な道路化駆歩に威力を発揮します。斜路や林道のわだち掘れ止効果にも有効です。

ジオウエツブによる補強格差



ジオウエツブによる充填剤の拘束効果、及びセル壁面の摩擦抵抗により荷重が分散し、わだち掘れ発生を抑制します。

その他